

大月町 事前復興 まちづくり かわら版

西 泊

第 2 号

昨年度に引き続き、令和7年度
第2回ワークショップが開催されました。

2025年7月5日（土）14:00～16:00、西泊憩いの家にて事前復興まちづくり計画に向けた地区ワークショップが開催されました。

第2回地区ワークショップでは、「南海トラフ巨大地震が発生した場合」を想像しながら、地区としての復興の方向性や、被災後の多様な住まい方に関する意見交換を行いました。



【地区としての復興の方向性】

・新しいお寺がある。
何かあれば再建したい

→ 現実的には
難しい？

・漁にまた出たい

→ 漁に出るにも、
船もないなる

・どこで被災するかわからんし、どうなるか災害が起こってみんなとわからん！

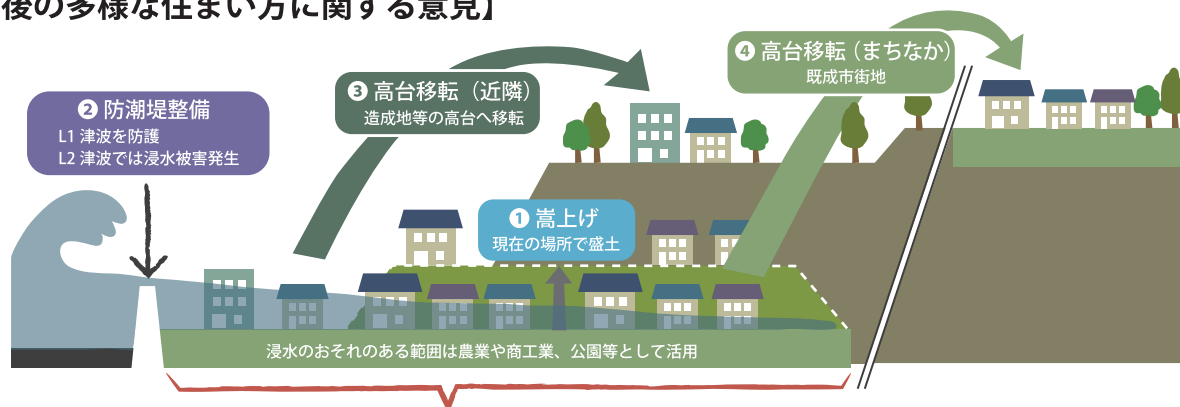
今して欲しいこと！

- ・崩れている法面を工事して欲しい
- ・今災害が来たら、裏山が崩れる！

その他の意見

- ・普段からお隣さんが心配で気にかけている
- ・黒潮生物研究所と仲良し
- ・親戚の家へ行くよりは、自分で再建できたらいい
- ・年がいったから家は建てれん

【被災後の多様な住まい方に関する意見】



居住の制限

浸水のおそれのある区域は居住の制限を検討

※範囲は L1 対応の堤防整備等を踏まえて津波シミュレーションの結果を踏まえて設定

① 嵩上げ

・嵩上げしてくれるなら、
同じ場所に家を建てたい

・谷を全部埋めることになる
・土地が悪い

② 防潮堤整備

・海が見えんようなところ
には住みたくない
・防潮堤はいらない
・防潮堤を作るのは無理や
と思う

③ 高台移転（近隣）

・造成地で集団移転！みんな
といたい
・知った顔が近い、地区内
の方がいい
・ソーラーがある造成地を
宅地にしたらどうやろ？

・嫁に来た人と、ここで生
まれ育った人とは気持ち
が違う

④ 高台移転（まちなか）

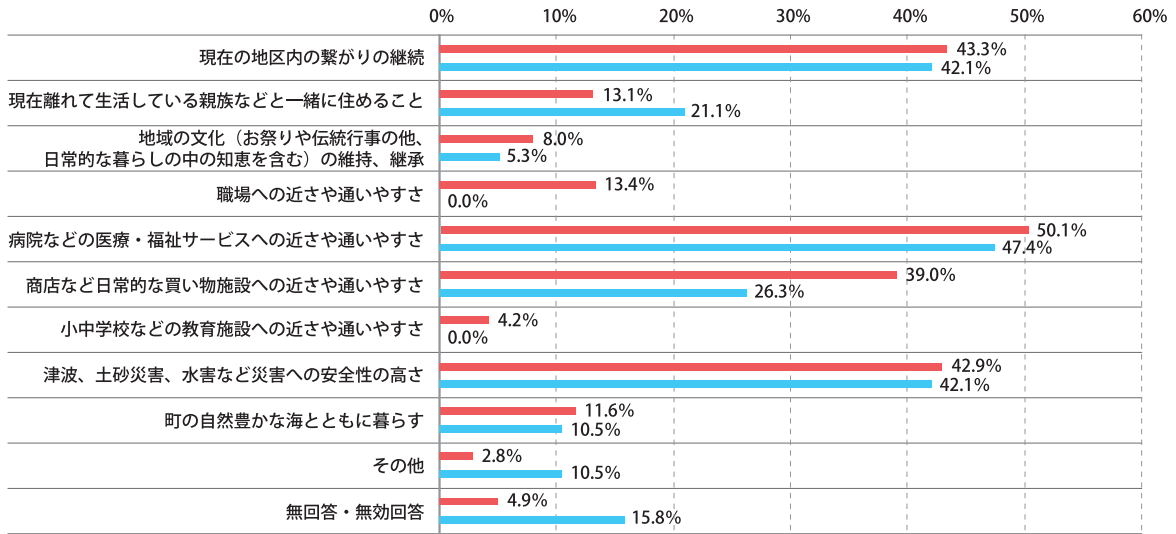
・公営住宅に入れたらいい
な！
↓
・弘見に公営住宅を作っ
てもらおう！
・地域の人と同じエリアだ
といいな

・姫ノ井と弘見ならどっち？

大月町事前復興アンケート調査を実施しました。ご協力ありがとうございました！

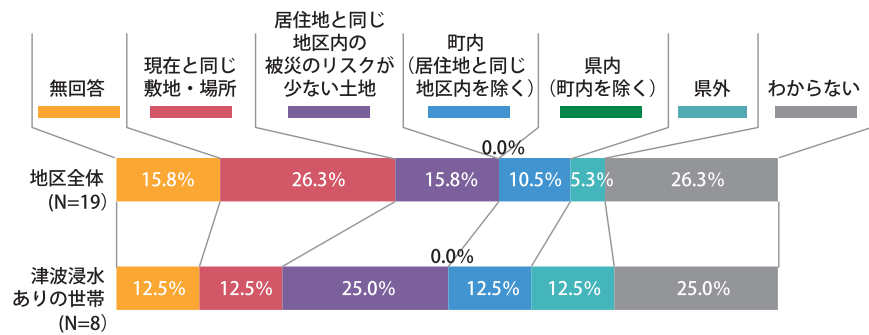
2025 年 8 月 25 日までの2週間、全町民の方を対象に、事前復興まちづくりに関するアンケート調査を実施しました。一部ではありますが、被災後の住まい方に関する質問を中心に地区の回答結果について、共有させていただきます。

●被災後の住まいで重視する内容（地区と町全体での回答を掲載）



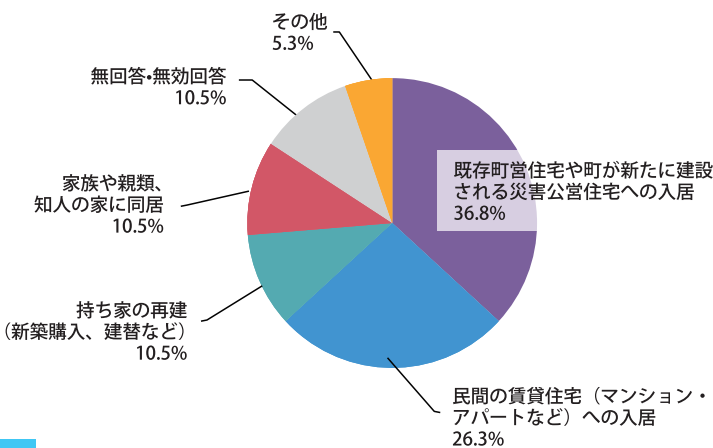
●被災後の住まいで重視する内容について、大月町全体では「病院などの医療・福祉サービスへの近さや通いやすさ」が 50.1% と最も多く、次いで「現在の地区内の繋がりの継続」が 43.3% となった。西泊地区では「病院などの医療・福祉サービスへの近さや通いやすさ」が 47.4% が最も多く、次いで「現在の地区内の繋がりの継続」と「津波、土砂災害、水害など災害への安全性の高さ」の 42.1% となった。

●被災後、生活を再建する際に望ましい住まいの場所



●被災後、生活を再建する際に望ましい住まいの場所については、西泊地区全体では「現在と同じ敷地・場所」、「わからない」が 26.3% と最も多く、津波浸水の予想される世帯では「居住地と同じ地区内の被災のリスクが少ない土地」、「わからない」が 25.0% と最も多く、「現在と同じ敷地・場所」、「町内（居住地と同じ地区内を除く）」、「県外」、無回答」が 12.5% となった。

●復興の際の住まいの形態 (N=19)



●復興の際の住まいの形態については、「既存町営住宅や町が新たに建設される災害公営住宅への入居」が 36.8% と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅への入居」26.3% となっている。その他「持ち家の再建」、「家族や親類、知人の家に同居」、「無回答、無効回答」がそれぞれ 10.5% となっており、公営住宅や民間の賃貸住宅への入居を希望している人が多い。